

4月  
17日



### 行入ダムでこいのぼり

4月17日(日)、国東町横手の行入ダムに恒例のこいのぼりが登場しました。

地域おこしグループ行入見来会(郷司日出海会長)の皆さんが活動の一環として取り組んでおり、今年で15回目。ダム湖と上流のくにさきパークゴルフ場に渡したワイヤーとロープに、約300匹の色とりどりのこいのぼりが風を受けて元気に泳ぎました。また、こいのぼりの間には、「がんばろう!日本」と被災地の復興を祈るメッセージも飾られました。

### 鮎の放流

#### 国東町横手

4月15日(金)、国東町横手の馬場河川愛好会(本田昭雄会長)の皆さんと豊崎小学校(山元公一校長・児童26人)の児童が鮎の稚魚1000匹を横手川に放流しました。同会は横手川の草刈りや清掃などに取り組んでおり、鮎の放流を行うのは、今年で6回目。会員の皆さんは、川岸に止めたトラックから、稚魚の入ったバケツをリレーし、受け取った児童はバケツからやさしく放流しました。



4月  
20日



#### 安岐町中園

4月20日(水)、安岐川を素足で歩く会(徳部伝造会長)は、安岐中央小学校(秋吉雄二校長)の4年生児童38人と安岐町中園の高原橋で、鮎の稚魚を放流しました。同会は、安岐川の環境を守り、子どもたちが自然に親しむことを目的に、毎年この時期に稚魚の放流を行っています。今回は、高原橋と上流の2箇所合計5500匹の稚魚を放流しました。参加した児童は「初めて鮎の放流をして楽しかった。大きくなって安岐川に戻ってきてほしい。これからも安岐川を大切にしていきたい」と会の皆さんに感想を述べました。

### 行政相談委員・総務大臣感謝状

永年にわたり行政相談委員を勤められ退任された吉武玲子さん(安岐町油留木)と森本ミドリさん(武蔵町糸原)へ総務大臣感謝状が贈られました。吉武さんは20年間、森本さんは6年間、行政相談委員として、国などが行っている仕事に対する苦情や要望の解決に取り組み、行政相談制度の発展に貢献されました。4月20日(水)、市役所で贈呈式が行われ、山崎久雄大分行政評価事務所所長から感謝状が手渡されました。



(左から)三河明史市長、森本さん、吉武さん、山崎所長